

高脂血症の療法学ぶ

豊橋北LC 馬場医師招き例会

豊橋北ライオンズクラブ(竹本弘会長)は二十七日夜、豊橋市新栄町の高千穂会館で「ゲストスピーチ例会」を開いた。豊橋ハートセンター心臓血管外科の馬場寛医師を



迎え、「動脈硬化と心臓病の予防」と題したスピーチを聴いた。ゲストスピーチは、今年度のクラブのキーワード「自己研さん」の一環として開き、会員五十五

人が出席。竹本会長が「北クラブ会員の平均年齢は六〇・五歳。我々に今一番大切なのは健康管理だ」と思う。今回のスピーチを身近な問題ととらえてほしい」とあいさつした

動脈硬化と心臓病予防について学んだ例会。高千穂会館で

後、馬場医師がスピーチした。

馬場医師は、ストレスや加齢、肥満、喫煙など、動脈硬化につながる高脂血症の要因を挙げ、「最近の死亡原因の上位三つ(がん、心疾患、脳血管障害)のうち二つに動脈硬化が関係」と説明。動脈硬化の種類や、生活改善や薬物療法、食事や運動療法など、高脂血症の治療法を紹介した。

また、「ストレスも血

中コレステロールや血圧を増加させる。くよくよせず前向きに過ごし、適度な運動と十分な睡眠を」と助言。さらに、カテーテル治療やAＣ－パイパス手術を画像も交えて紹介した。会員は真剣に聴講、質疑応答でも積極的に質問を投げかけていた。(田中博子)